ア　造形活動においては，材料や用具の安全な使い方について指導するとともに活動場所を事前に点検するなどして，事故防止について徹底すること。

イ　児童が個性を生かして活動することができるようにするため，学習活動や表現方法などに幅をもたせるようにすること。

ウ　「A表現」の指導に当たっては，活動の全過程を通して児童が実現したい思いを大切にしながら活動できるようにし，自分のよさや可能性を見いだし，楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにすること。

エ　各活動において，互いのよさや個性などを認め尊重し合うようにすること。

オ　土，木，紙などの身近な材料に親しんで造形活動などをすることや，はさみ，のりなど身近で扱いやすい用具等の扱い方を理解して使えるよう指導すること。

カ　「A表現」及び「B鑑賞」の学習を通して学んだことが，生活や社会の中で生かせるよう指導することや，作品や用具等を大切に取り扱うことを指導すること。

キ　コンピュータ，カメラなどの情報機器を利用することは，表現や鑑賞の活動で使う用具の一つとして扱うとともに，必要性を十分に検討して利用すること。

ク　材料については，地域の身近にある材料なども取り上げ，指導すること。

ケ　作品を校内の適切な場所に展示するなどし，日常の学校生活においてそれらを鑑賞することができるよう配慮すること。また，学校や地域の実態に応じて，校外に児童の作品を展示する機会を設けるなどすること。

〔体　育〕

1　目　標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題に気付き，その解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し，豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに，基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付けるようにする。

(2) 遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き，その解決に向けて自ら考え行動し，他者に伝える力を養う。

(3) 遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し，楽しく明るい生活を営む態度を養う。

2　各段階の目標及び内容

○1段階

(1) 目　標

ア　教師と一緒に，楽しく体を動かすことができるようにするとともに，健康な生活に必要な事柄ができるようにする。

イ　体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに，健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。

ウ　簡単な合図や指示に従って，楽しく運動をしようとしたり，健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。

(2) 内　容

A　体つくり運動遊び

体つくり運動遊びについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　教師と一緒に，手足を動かしたり，歩いたりして楽しく体を動かすこと。

イ　手足を動かしたり，歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。

ウ　簡単な合図や指示に従って，体つくり運動遊びをしようとすること。

B　器械・器具を使っての遊び

器械・器具を使っての遊びについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　教師と一緒に，器械・器具を使って楽しく体を動かすこと。

イ　器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現す